

はじめましての
赤ちゃん、
パパ、ママへ。
絵本を開いてみて
とってもとっても
楽しいんだよ。



「ブックスタート」はじめました。

「ブックスタート」とは、すべての赤ちゃんのまわりで、楽しく温かなひとときが持たれることを願い、一人ひとりの赤ちゃんに、絵本を開く楽しい体験と一緒に、絵本を手渡しプレゼントする取り組みです。

この「ブックスタート」は、平成4年に英国で始まり、日本は平成13年からで、世界で2番目に始まりました。

現在日本では、805の自治体（市町村）で取り組まれています。この取り組みは、行政（市役所・町村役場）に限って取り組むものではなく、家庭（保護者）と住民活動団体や地域、行政との連携のなかで、赤ちゃんの成長を見守っていくものです。

実施の機会は、多くは3〜4ヶ月健診、6〜7ヶ月健診などの0歳児健診ですが、各地域の実情に合わせて、適時実施されています。剣淵町では、平成23年11月17日、絵本の館において「君の椅子贈呈式」を行った後に実施しました。

実施者（絵本の里を創ろう会、教育課・住民課・健康福祉課の子

育て支援関係担当）も慣れないことから、赤ちゃんやお父さん・お母さんとのきっかけづくりをどうつくるのか、当日の実施まで、大変心配したとの声を聞きました。赤ちゃんへの絵本の読み聞かせを介して、お父さん・お母さんは、赤ちゃんの可愛い反応を見ながら、ゆったりとしたひとときを過ごしていました。

絵本の読み聞かせのほか、赤ちゃん体操も、ころあいを見て個々に実施し、スムーズに読み聞かせや体操ができ、互いの会話も弾み、お父さん・お母さんと実施者との間も縮まったようです。

実施者からは、会場の雰囲気もリラックス感があつて、実施して大変良かった。赤ちゃんが人見知りがなく、とてもやりやすかった。思っていた以上に赤ちゃんの反応（目で追う）があつたとの声も聞きました。

「ブックスタート」の機会の場が、より家族との充実した時間や地域とのつながりができるよう、また、様々な場面で絵本を通したふれ合いの場を創り、「絵本の里けんぶち」らしい取り組みになるよう期待します。

絵本読み聞かせグループ「芽ぶっく」

ブックスタートに協力している「芽ぶっく」は、絵本の里を創ろう会員がボランティアで読み聞かせをしていましたが、よりよい読み聞かせができればと、平成23年に結成したグループです。現在は小学校、ひらなみ荘や町内の各種行事で読み聞かせを行っています。芽ぶっくでは、随時会員を募集していますので、興味のある方は参加してみませんか。

◇お問い合わせ先

絵本の館 玉根
（電話 34-2624）

